

県測量設計コンサルタント協会



親子で測量体験 「稲佐山をはかろう！」

記念イベントで多くの笑顔

6月3日の測量の日を記念して1日、(一社)長崎県測量設計コンサルタント協会(吉川國夫会長)が長崎市稲佐山公園で「稲佐山をはかろう！」を開催した。毎年恒例となったイベントには、協会員や公園利用者など50人が参加。青空の下、親子で測量機器に触れながら測量の仕事を楽しんで学んだ。

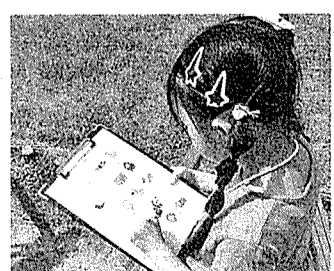


今年で7年目となる記念イベント。吉川会長は子どもたちへ「存分に楽しんでほしい」と呼び掛けた上で、「はじめは準備や企画の考案など手探りで行っていたが、回を重ねるごとに会員の若手技術者がより楽しめるようにとアイデアを出し合い、積極的に参加している。協会員ならびに関係機関の皆様協力に心より感謝申し上げます」と述べ、今後も多くの市民に親しまれるイベントになることを願った。

測量体験前に開かれた記念講演では、野外音楽堂を舞台に、噂の土木応援チームデミーとマツからデミ博士(出水享氏・長崎大学職員)と、国土地理院九州地方測量部の阿部誠次長が登壇した。



デミ博士は、測量についてクイズ形式で参加者へ問いかけつつ、「測量の仕事は正確なものが求められるので、国家資格である測量士というプロ集団が行っています。それが皆さんの周りに立っている測量設計コンサルタント協会の皆さんです」と紹介。「ぜひ、本日は測量士の皆さんとふれあってお仕事について、機械について楽しく学んでほしい」と呼び掛けた。



▲動物なにが見えたかな?

続いて、国土地理院九州地方測量部の阿部次長が「測量と地図」と題し講演。測量の歴史や日本地図の成り立ちを講じ、測量の重要性を参加者へ伝えた。その後、参加者が芝生広場へ移動し測量体験がスタート。広場には、会員7社(34人)とタモサンドローン合同会社が▽歩測▽光波▽水準▽平板▽ドローン▽の5つの体験ブースを設置。親子が、測量機器の操作について会員達とふれあいつつ楽しく学んだ。

このうち、歩測会場では子どもたちが歩幅を数えながら50mを測定。自信満々の表情で予測した50m地点に目印を立てた。また、水準測量体験では、レベルを使用して広場に散りばめられた測点(動物の絵)を観測。子どもたちは、動物を観測。親子で歩測の結果発表を行い上位者へ賞状や記念品を贈ったほか、子どもたち全員へ参加賞も配られるなど、講演から体験まで参加者・会員ともに多くの笑顔が見られたイベントとなった。

な眼差しでレンズを覗き込んだ。

体験後は歩測の結果発表

を行い上位者へ賞状や記念

品を贈ったほか、子どもた

ち全員へ参加賞も配られる

など、講演から体験まで参

加者・会員ともに多くの笑

顔が見られたイベントとな

った。